

(教育福祉委員会資料)

令和3年5月  
保健福祉局

# **新型コロナウイルスワクチン接種事業 集団接種の拡充と予約方法の変更 ～高齢者の方に安心して予約・接種していただくために～**

# 1 集団接種の予約方法の変更の概要

## <これまで>

公表医療機関が問合せ等の集中で通常の診療が行えない。

身近な診療所  
・病院(かかりつけ医等)がある方

接種予約



身近な医療機関があるのに接種が受けられるか分からない。

身近な診療所・病院(かかりつけ医等)がない方  
身近な診療所・病院(かかりつけ医等)が接種を行っていない方

全体像がつかめない

申込



予約受付

集団接種会場

## <今後>

8000余り公表

身近な診療所・病院がある方

接種予約

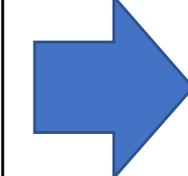


※個別医療機関を京都市から案内(指定)

身近な診療所・病院(かかりつけ医等)がない方  
身近な診療所・病院(かかりつけ医等)が接種を行っていない方

必ず予約できる安心感

全ての希望者を登録



受付期間を随時に

集団接種会場

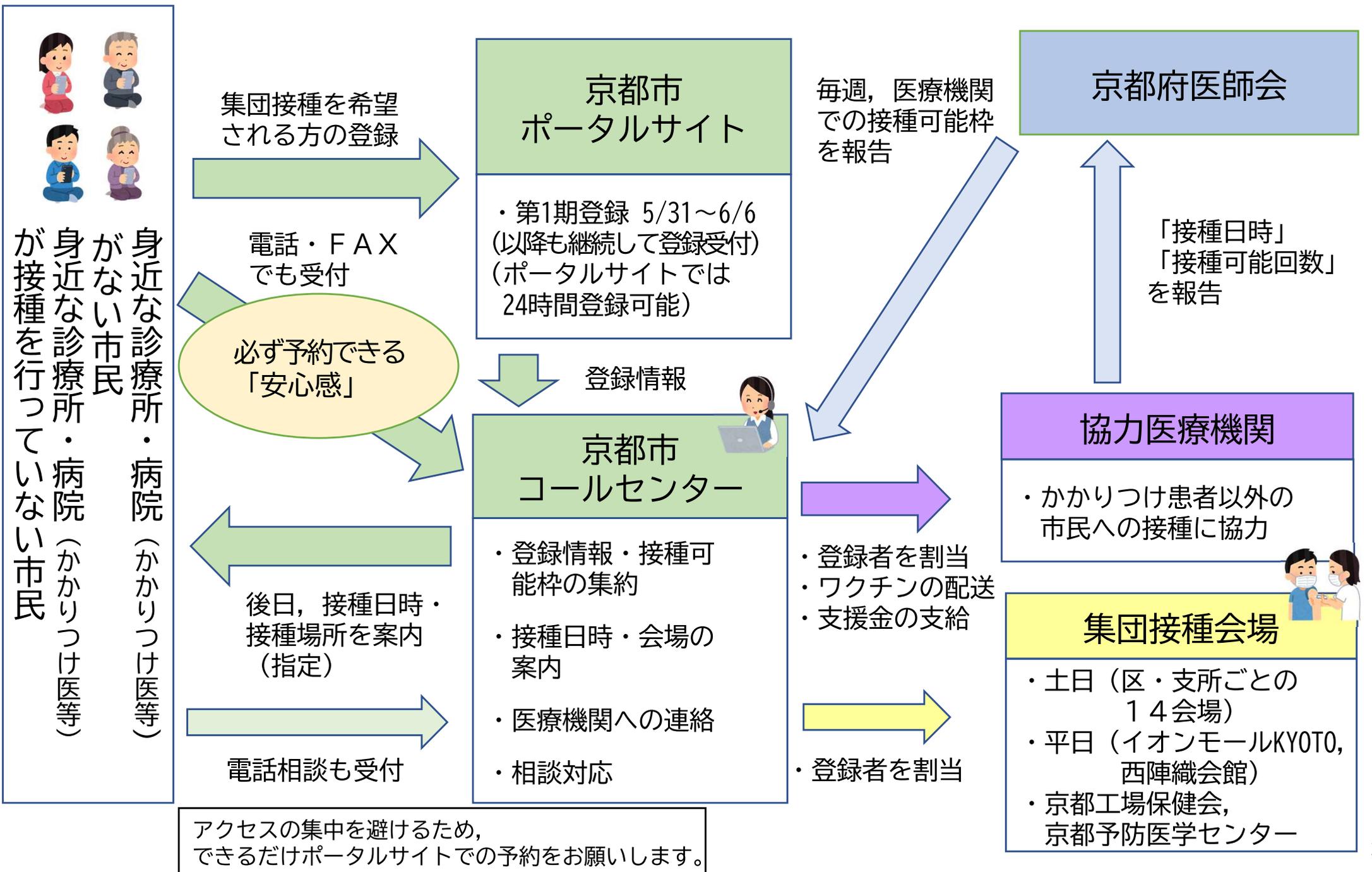
拡充

接種日時・接種場所を案内(京都市から指定)(都合が悪いときは変更可)

## 2 現在の受付方法の課題

- かかりつけ医のない方, かかりつけ医が接種を行っていない高齢者等から, 「予約が取れない」, 「どこの医療機関に行けばよいか分からない」, 「コールセンターに電話が繋がらない」といった不安, 不満の声をいただいている。
- 接種を希望されている方で予約を取れていない方(集団接種を必要とされている方)が, 残りどのくらいおられるか正確には把握できていない。
- 次回以降の予約受付で同じことを繰り返さないため, 対策を講じる必要がある。

# 3 予約方法の変更



## 4 集団接種の予約方法の変更 ①

### 集団接種を希望する全ての方をまず受付（登録）

- 高齢者の方の「予約できない」「7月末までに接種を受けられない」といった「不安」、電話によるアクセスの集中による「つながらない不満」を解消
- 希望者全員の登録制として『先着順にしない』ことで、7月末までに確実に接種できる安心感を持ってもらう。
- 集団接種を希望する全ての方を登録することで、全体の希望者数や地域ごとの希望者数を正確に把握

登録された方は、6月9日から7月10日までの間に1回目の接種ができるよう、接種日時や接種場所を、接種日から概ね1週間前に案内（指定）

## 5 集団接種の予約方法の変更 ②

### 接種希望者(予約)の登録 [先着順ではありません]

(第1期登録期間) 5月31日(月)～6月6日(日)(1週間)

※ 期間終了後も登録受付は継続

(登録方法) 京都市のポータルサイトから登録

※ポータルサイトでの登録が難しい人はコールセンター  
(電話・FAX)で受付

(登録内容) 接種券番号, 本人氏名, 生年月日, 希望される接種場所  
の行政区, 連絡先(氏名・電話番号・メールアドレス)

※ 接種日・時間帯・接種場所の指定はできません。

京都市が指定した接種日時が御都合の悪いときは  
コールセンターに連絡いただければ調整します。

<7月中に接種を完了していただくために>

- ・ 地域の医療機関での予約が8月以降になっている方も登録を受付
- ・ 御本人で予約のキャンセルをお願いします。

電話がつながりにくいことを回避するため、できるだけポータルサイトから登録を！

## 6 集団接種の予約方法の変更 ③

### 接種日時・会場の案内

- ① 京都市(コールセンター)で、接種できる予約枠を1週間ごとに確定
- ② 京都市(コールセンター)から、接種日から概ね1週間前に接種希望者(登録者)に「接種日時・会場」を案内

※ 希望接種場所を考慮して御案内します。

御都合の悪いときは、コールセンターで予約の変更を受け付けます。

## 7 希望者全員の登録と集団接種体制の拡充

- 集団接種を希望する全ての方に登録いただくことで、全体の希望者数や地域ごとの希望者数を正確に把握
- 地域ごとの希望者・状況を正確に把握することで、各集団接種会場の体制を検討・拡充し、効果的な接種を実施
- 区、支所ごとに設置する14会場での実施回数充実
- 平日における集団接種の新たな実施（イオンモールKYOTO, 西陣織会館）
- 京都工場保健会・京都予防医学センターによる集団接種の継続
- 休診日（土日等）における病院等での集団接種の実施
- 新たに平日等に接種可能な医療機関を京都市から案内（指定）

## 8 病院等の機能を活かした接種体制の充実

京都府医師会，京都私立病院協会等と連携し，  
休診日（土日等）・平日に接種を行う医療機関を募集  
(登録内容) 接種可能枠(接種回数，実施時間帯等)

医師会との緊密な  
連携による接種体制  
の確保

- 接種の実施に当たっては，協力医療機関の接種可能枠を京都府医師会がとりまとめ(翌々週の接種可能枠をとりまとめ，京都市に連絡)
- 京都市(コールセンター)から，集団接種を希望される方へ，接種日時・会場を案内(指定)します。
- これらの取組により，かかりつけ医のない方やかかりつけ医が接種を行っていない方の接種機会を確保します。
- 同時に，身近な診療所・病院での個別接種を促進するため，6月1日から医療機関名を京都市ポータルサイトで公表します。

## 9 体制確保のための方策

### 病院等の機能を活かし接種体制を拡充

- ・ 京都市のコールセンターで登録受付・接種日時・会場を案内することで、医療機関の負担を軽減
- ・ 休診日の開業に要する、体制確保へ一定の支援金を創設  
(支援内容)
  - ① 毎週120回以上の接種を行う医療機関に対し、1医療機関、週ごとに5万円
  - ② 接種1回に当たり、接種費用を300円増額

(参考)

現在の接種費用(接種1回当たり)

2,070円(税抜)

(時間外)2,800円(税抜)/(休日)4,200円(税抜)



- 集団接種の予約方法の変更により、「予約を取ることができない」「7月末までに接種できない」といった不安，ワクチン接種の取組に不満を持っておられる高齢者の安心感につなげる。
- 各医療機関の接種可能枠をコールセンターで集約・把握し，接種希望者（登録者）に予約枠を順次案内することで，  
医療機関の接種能力を最大限に活用！
- 集団接種の希望者の全体数を正確に把握することで，これに合わせた集団接種体制等を構築し，7月末までに希望者全員の2回接種を完了する。
- そのため，医師会，私立病院協会，看護協会と緊密な連携を深めつつ，更に，歯科医師会，薬剤師会の協力を得る。

## 現時点(5月25日時点)での接種状況(ワクチン配送状況)

- 6月4日までに、791の地域の診療所・病院等に 181,404回のワクチンを配送
  - ※ 5月31日～6月4日分については、2回目接種分を含む
- 5月20日に、集団接種会場の予約(14,106回)を受付

現時点で、6月4日までに、約19.5万人の方  
(高齢者の約50%)が1回目接種又は接種予約を受付